

## < 遺伝性非ポリポージス大腸癌 (Hereditary Non-Polyposis Colorectal Cancer : HNPCC) の診断基準 >

大腸の多重がんは、遺伝性非ポリポージス大腸癌 (HNPCC) において高頻度にみられる。HNPCC の診断基準については、国内外で検討中であるが、下記の Amsterdam の診断基準 II を用いることが望ましい

Amsterdam 診断基準 II (1999 年)

3 名以上の血縁者が HNPCC 関連癌\*に罹患しておりかつ以下のすべての条件を示すもの。

- 1) 罹患者の 1 名は、他の 2 名の第一度近親者であること
- 2) 少なくとも継続する 2 世代にわたり罹患者がいること
- 3) 罹患者の 1 名は 50 才未満で診断されていること
- 4) 家族性大腸腺腫症が除外されていること
- 5) 癌の診断が組織的に確認されていること

(HNPCC 関連癌: 大腸癌、子宮内膜癌、小腸癌、腎盂尿管癌)